

12th IARU Reg.3 ARDF Championships

9-14 Nov 2026

Kansai Japan

Ryuo Town, Shiga prefecture



IARU 第3地域 ARDF 選手権大会 11月9日～14日に関西地方(滋賀県・京都府)で開催 コロナウイルスの影響で第3地域開催9年間中断を JARL100周年の日本で再開!!!

今年、2026年11月にIARU第3地域 ARDF 選手権大会が開催される事になりました。同大会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催が中断されていましたが、JARL100周年の日本で、アジア圏の中心となり再開を致します。JARLでは、ARDF委員会が中心となり、再開に向けて一昨年から協議し、分科会を設け開催企画を立案し、理事会等に諮り、開催する事になりました。日本での10年ぶりの開催でもあり、日本でARDF全国競技大会の第1回大会を開催した関西が中心となり「第3地域 ARDF 選手権」を計画運営致します。同大会は、2025年万博記念局を展開した関西勢が企画運営を担いつつ、競技運営は全国各地からARDF委員を中心に選手経験の豊富な会員がスタッフとして関わり開催致します。日程は、11月9日～14日。開催期間中、各国からの選手や役員、スタッフは滋賀県蒲生郡竜王町の「滋賀県希望が丘文化公園 青年の城」で宿泊します。

参加選手はIARU第3地域の加盟団体を中心に、日本・中国・韓国・タイ・モンゴル・オーストラリア・アメリカ等が参加予定です。更に、オープン参加でヨーロッパの選手から参加希望が寄せられています。

■ IARU 第3地域 ARDF 選手権大会の歴史

IARU第3地域 ARDF 選手権大会は、今回が第12回大会となります。

1993年に中国北京で第1回大会が開催され、2005年日本の新潟県で第6回大会が開催され、更に2015年に群馬県で第10回大会が開催されています。

2017年モンゴルで第11回大会が開催された後、新型コロナウイルス感染拡大等の影響で開催が中止されています。この中断を打ち切り、JARL100周年の年に、日本でARDF競技のスタートをきった関西での第3地域 ARDF 選手権の再開です。

■ 競技・Banquet

競技は、従来の「クラシック競技」の3.5MHzと144MHzの2競技、そして、オリエンテーリングを主に取り入れた「FOX-O競技」、観客が競技で走り回り探索する様子が見られる「スプリント競技」の4競技を開催致します。

世界大会では、単に競技の勝ち負けが全てではなく、日程の最終日には「Banquet」が開催され、各国の選手が入り混じり、辛かった競技についての話題交流や、酒酌み交わし、時には仲良く踊る等、選手・スタッフが盛大に交流の輪が広がります。

競技では電波の受信しかアマチュア無線を用いませんが、強い交流の輪はアマチュア無線の交信でのつながりとも決して劣らない関係です。



日本からの出場選手は、2025年10月に開催された全日本 ARDF 競技大会の成績優秀者から選抜され、既に出場打診を終えています。また、ジュニア選手については、各国共にオープン枠の参戦選手を取り入れ、これからのジュニア育成を目指します。

大会運営委員長 JF3KRL 菊一好史

▽第12回 IARU Region3 ARDF 選手権大会
<https://www.jarl.com/2026reg3ardf/>

